

HEMSなどによるエネルギーマネジメントに取り組みつつ、 将来的には街全体を対象とした地域エネルギーマネジメントを目指す

事例概要

事業者	Fujisawa SST 協議会 (代表幹事：パナソニック グループ)
地域課題	都市のスマート化、エネルギーの自産自消、レジリエンス強化
事業概要	- Fujisawa サステナブル・スマートタウン（Fujisawa SST）は、パートナー企業と神奈川県藤沢市の官民一体型プロジェクトとして、パナソニックの工場跡地を活用して開発された複合型スマートタウン 「生きるエネルギーがうまれる街。」をコンセプトに、全ての住宅に太陽光・蓄電池を設置し、HEMSやBEMSによるエネルギーマネジメントを実施 - 住宅の太陽光発電の余剰分は蓄電池に一定量貯めた上で全量売電し、取組への住人の理解を促進 - 非常時には地域電源として設置された「コミュニティソーラー」を携帯電話やEV等を充電できるよう解放
実施状況 (2022年12月現在)	事業化済み（2014年3月入居開始）
補助事業の利用	- スマートコミュニティ構想普及支援事業（経済産業省） - 二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（環境省） - 住宅・建築物省CO2先導事業（国土交通省）
CO2削減効果	非公表 (住人に対しては開示)

事業スキーム・体制

プロジェクト体制（50音順）	
代表幹事	Panasonic
幹事会員	Gakken CCC  dentsu tokyo / osaka / nagoya  TOKYO GAS Panasonic Homes  NTT東日本  三井住友信託銀行  MITSUI & CO.  三井不動産グループ  ヤマト運輸
一般会員	 アイングループ accenture  SUN AVTAS  ALSOX
アドバイザー	SFC TEPCO  NIHON SEKKEI  藤沢市  Fujisawa SST マネジメント



Fujisawa SST（戸建・商業施設街区）



コミュニティソーラー